



# 愛知長久手ロータリークラブ 2016-2017



## WEEKLY

例会日=毎週火曜日 PM12:30 例会場=トヨタ博物館「小ホール」

会長 日野典子 幹事 大島昭夫 会報 小谷恒夫

Email: a.nagakuterc@aurora.ocn.ne.jp

事務局 TEL:0561-64-5446

FAX:0561-64-5459



## 人類に奉仕するロータリー



本日 第667回例会 2017年3月7日(火曜日)第659号

### <本日のプログラム> Today's Program

- ◇ 点 鐘
- ◇ ロータリーソング 「君が代」「奉仕の理想」

演題: 実践型工業教育による人材育成を目指す。

愛知県立愛知総合工科高校の紹介

卓話者: (株)トーエネック

教育センター顧問 伊藤元行様

### 前回 第666回例会 2017年2月28日(火曜日)記録

<ロータリーソング> 「それこそロータリー」

#### <出席報告>

員総数 20名

出席者 10名

出席率 50.00%

前々回補正出席率 90.00%



豚テキセット

#### <会長挨拶>



愛知長久手ロータリークラブ  
会長 日野 典子

今月のロータリーの友に興味深い記事がありました。それは、(合併…その後)という内容の題材でした。会員数が減って十分な活動が出来なくなった時クラブはどの様にすれば良いのでしょうか。そのまま解散…人数は少なくともロータリーが好きで地域の為に役立ちたいと考える会員が残っています。1つの道として他のクラブとの合併を考え実施したクラブがあります。その結果がそこには書いてありました。

八潮中央ロータリークラブと八潮シティロータリークラブが合併して2つの名前を残したいと八潮未来ロータリークラブが出来ました。事業については各旧クラブの2事業を絞り込み5年間継続する事、会長選出は各旧クラブから当面選出する事。例会時間は折衝案として昼夜両方に開催する事、会員同士の交流を中心に例会を行う事を決定しました。覚悟はしていましたが合併時に退会者も出ました。しかし、ここでの成功例は合併委員会を立ち上げ国際ロータリー(RI)に合併認証を申請し、RI日本事務局への訪問や電話での相談で皆さんが前向きに動いたからです。

今後の課題は継続事業の見直しと新規事業の展開、そして会員増強だそう。

合併して良かった事については各クラブが長年培ってきたクラブの歴史がありそれが個性になっている事。合併前の各クラブの雰囲気を感じ取り新生クラブに生かす事ができたことです。会の運営、増強手法事業に対する取り組み方、考え方、さらにはロータリーの究極の目的はわかりません。いかにロータリー活動を展開していくか大きな目的に向かって行くかが非常に大切な事であり合併はその手段だと思います。

この記事を読んで大変参考になりました。少ない人数で困っても合併という道がある事、それを助けてくれるRIがバックにいる事です。少数精鋭のクラブでもきちんとやっていたら必ず大きな事業が成せるという事ですね。

## <委員会報告>

### ■ニコボックス委員会■

- ・今日のクラブフォーラムよろしくお願ひします。 日野 典子
- ・月末の例会忙しかった昔を思い出します。本日もよろしくお願ひします。 大島 昭夫
- ・ベトナムへ1週間、ハノイ・当法人とハイホン大学との合併日本語学校開校式に行ってきました。丹羽 司一  
桜苗ホ 500本の寄贈植樹もしてきました。当日ベトナム国営(日本のNHK)放送局にて3分間放映  
されました。
- ・本日もよろしくお願ひします。 伊藤 広治
- ・本日クラブフォーラムよろしくお願ひ致します。 山田 文明
- ・本日も宜しく御願ひ致します。 青山 和成
- ・本日もよろしくお願ひします。 田中 信子
- ・もうすぐ桜ですね。本日もよろしくお願ひします。 林 正俊
- ・本日もどうぞ宜しくお願ひします。 伊藤 真
- ・最近春らしくなりましたね。 大月 涼子

## <幹事報告>

- ① 次回例会3/7(火)はトーエネックセンター顧問 伊藤元行様の外部卓話になります。  
例会終了後は第8回理事役員会が行われます。理事役員の方はよろしくお願ひいたします。
- ② 3月例会は3/7(火)・3/19(日)職場例会の2回になります。3/21・3/28は同週祝日振替休会・規定休日  
により例会はお休みになります。
- ③ 4/4(火)例会は名古屋名東Rcとの合同花見例会の予定でございましたが、本年度は合同花見例会は開催  
しないことに決まりましたので、4/4(火)例会場所は「華野」でお花見も兼ねて行いたいと思います。

## <2月 平和と紛争予防/紛争解決月間>

ガバナー月信より

# 平和と紛争予防/紛争解決月間に寄せて

奨学基金・平和フェロシップ委員会 委員長 長谷川龍伸

2月は「平和と紛争予防/紛争解決月間」です。これは「紛争予防と仲裁に関する、若者(将来、リーダーとなる  
ことが望まれる人)を対象とした研修の実施、紛争地域における平和構築の支援、平和と紛争予防または紛争  
解決に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援を強調する月間」です。

ちなみに、ロータリー創立記念日である2月23日からの1週間は「世界理解と平和週間」とされており、これ  
と相まって、2月の月間には、ロータリークラブが相互理解を通じて世界平和が達成されることを目指している  
こと、そのために、平和の仕事に従事する熱意を持った人材を育成することを重要視していることが示されてい  
ます。

奨学基金・平和フェロシップ委員会は、その名前のとおり「グローバル補助金奨学生」や平和をテーマに学ぶ  
「ロータリー平和フェロー」の支援を行っています。「ロータリー平和フェロー」はもちろん、「グローバル補  
助金奨学生」もグローバル補助金の要件とされる重点6分野のひとつが「平和と紛争防止・解決」であるため、  
「平和と紛争防止・解決」と密接に関連しています。

「ロータリー平和フェロー」は2002年にスタートした制度で、今年で16期目を迎えます。全世界で1年に100名  
しかねないという狭き門であり、日本ではこれまでに31名(平均すると1年に約2名)が推薦されていると  
ころ、第2760地区は、これまでに水野ショー真希さん(9期生)、澤屋奈津子さん(14期生)、宇治川貴史さ  
ん(15期生)の3名を輩出してきました。これに加えて、昨年度、さらに1名がロータリー平和センター委員  
会の最終選考を通過し、現在、提携大学からの入学許可を待っている状態であり、手続が順調に進み16期生と  
なれば、当地区として4人目、3年連続の「ロータリー平和フェロー」誕生となります。

また、昨年度海外に送り出した3名の「グローバル補助金奨学生」のうち1名は、イギリスのブランダイス大学  
の「紛争解決と共存」修士課程を履修中であり、さらに本年度の「グローバル補助金奨学生」候補者4名のうち  
2名は、重点6分野のうち「平和と紛争防止・解決」を研究テーマとしています。

地区のロータリアンの皆様のご理解により、当委員会はこのような活動をさせていただいており、これにより「平  
和と紛争予防・紛争解決」という大きな課題に少しでも貢献できれば、と考えております。

# 2017-18年度のRIテーマが決まりました



数年前、知り合った人からある質問をされました：「ロータリーとは何ですか？」シンプルであるはずのこの質問に答えようと口を開きかけたところで、思わず止まってしまいました。どこから説明してよいか分からなかったのです。ロータリーとは何かを、私が知らなかったわけではありません。問題は、ロータリーがあまりに大きく、複雑すぎて、簡単に説明できないことでした。

ロータリーとは、会員制の団体、クラブを基盤とした団体、奉仕を行う団体であり、町ごと、地域ごと、そして全世界で活動する団体です。その会員は、地域社会のメンバー、事業人、職業人であり、現役で仕事をする人もいれば、定年退職した人もいます。そして、世界のほぼすべての国で活動しています。120万人の会員一人ひとりが、独自の目標と優先を掲げ、一味違った経験をしています。一人ひとりが、ロータリーを独自の解釈で理解しているのです。

私にとってロータリーとは、「どのような団体か」ではなく、「何をしているか」で定義されます。すなわち、ロータリーが私たちに与えてくれる可能性、そして、その可能性を有意義かつ持続可能な奉仕によって実現する方法によって、定義されるのです。ロータリーには、112年の豊かな歴史があります。この間にロータリーは、徐々に成長し、成熟し、会員と地域社会の変わりゆくニーズに対応しながら、ある意味で大きく変わりました。しかし、その根底にあるものは同じです。それは、地域社会と世界に変化を生みだしたいという願い、そして、ロータリーを通じてそれを実現できるようになった人が集まった組織だということです。「ロータリーとは何ですか」という問いに、私たちは行動をもって答えます。奉仕を通じて変化をもたらすことによって。組織として、私たちは、ロータリーとは何か、何をするのかを世界に理解してもらうことが、いかに重要であるかを認識しています。同時に、各クラブがロータリー奉仕を独自に定義することが、かつてないほど重要であると自覚しています。ロータリアンである。

私たちは、これまでよりも柔軟に、クラブの例会、活動、発展の方法を決定でき、また、もっと多くの女性や多様な会員を迎え入れて、地域社会の特色をクラブに映し出すことに力を注いでいます。

長期の計画、持続可能な奉仕、全レベルでのリーダーシップの継続性を重視することで、ロータリーが世界有数のボランティア組織であり続けるよう努力しています。

2017-18年度、「ロータリーとは何ですか」という問いに、私たちは「ロータリー：変化をもたらす」というテーマで答えます。それぞれどのような方法で奉仕することを選んだとしても、その理由は、奉仕を通じて人びとの人生に変化をもたらせると信じているからです。新しい遊び場や学校をつくる、医療や衛生設備を改善する、紛争仲裁者や助産師を研修するなど、私たちはその活動が、人数が多かろうが少なかろうが、誰かの人生をより良くしているのだと知っています。ロータリー入会のきっかけが何であれ、私たちがロータリーにとどまり続けるのは、ロータリーで充実感を得ることができるからです。この充実感は、毎週、毎年、「変化をもたらす」ロータリーの一員であることから湧き出てくるものなのです。



3月21日(火)	3月28日(火)	4月4日(火)	4月11日(火)
同週祝日振替休会  (ラグーナテンボス)	規定休日	花見例会  (華野)	卓話 (RETS報告) 青山 和成 (トヨタ博物館)